

TATEYAMA

# NOTAM

Vol.5

Hummingbird P.G.C Communication Note.



第1回ハミングバードボーリング大会での始球式。

## 平成9年度 ハミングバードPGC総会開催される！！

去る4月19日(土)、山野スポーツセンターにおいて平成9年度クラブ総会が開催された。総会は参加者21名、委任状54名の合計75名で会員の過半数の参加を受けて成立したものの、ゴンドラ運休が祟ってか？実際の参加者が例年より減少し、質疑応答の中でもこの件が指摘され、今後の総会の在り方について課題を残した。

総会の方は、平成8年度会務報告、同会計報告、平成9年度予算案、同活動計画案、同役員人事案が全会一致で可決され、滞り無く終了した。総会終了後も、恒例の懇親会で夜も更けるまで盛り上がった。

なお、役員人事は以下の通り。

### 平成9年度 役員人事

会長 : 大和 隆三 副会長 : 寺内 眞英

事務局 : 藤野 光一 会計 : 鎌仲 秀一

監査役 : 井上 文一

教育・指導委員 : 関沢 孝行・若林 恵子

広報委員 : 藤野 光一・松田 勲

安全管理・対策委員 : 関沢 孝行・若林 恵子

企画委員 : 島倉 浩一郎・高井 博昭・本馬 竜夫

県連対策委員 : 大和 隆三・斉藤 直行・関沢 孝行



総会の議事進行に務める役員

## らいちょうバレーカップ第1戦開催

5月3日～5日のG.Wに、毎年恒例の「らいちょうバレーカップ第1戦」が開催された。今年は天候不順のため、5月3日の2本のみ成立。しかもオープンクラス。ナショナルクラスはコンディションが好転せずキャンセルになってしまった。

オープンクラスはナショナルクラスの豪華メンバーのテイクオフサポートを受けて、次々と華麗？にテイクオフ。渋いコンディションの中をパイロンをまわり得点を競った。

クラブ員の結果は以下の通り。

順位	氏名	1本目	2本目	総合
6	福原 政秀	6 0 0	6 9 4	1 2 9 4
1 1	塚本 隆暢	6 6 6	4 9 3	1 1 5 9
2 2	清水 昌代	5 3 3	4 5 0	9 8 3
2 6	早風 慎也	6 1 0	3 6 5	9 7 5
5 0	井上 文一	0	4 4 6	4 4 6

## 第1回 Hummingbird ボーリング大会

Report:S. Koichiro

今回、初の試みでボーリング大会がを6月7日：クレハボールにて行なわれました。みなさん、楽しんでいただけましたか。

実際は、私の予想に反し白熱したゲーム展開となり、かなりの盛り上がりをもって無事終了することができました。参加したクラブ員、スクール生のみなさんお疲れさまでした。

それでは、あの興奮の瞬間にフラッシュバック。。。

### 1) 大会当日までには、実はこんなことが・・・

五月晴れと言える日が少なかった今年の五月。「フライトできない」というストレスのなか、気分をボーリングに切り換えて、本番の大会に向けて練習しているという声もちらほらと聞こえてきました。数回練習した人(私もその一人である^\_^);)、そして、なんと大会前夜クレハボールで本番さながらの練習をした人(某いじくらしい人：Eさん)、そして、またまた、な、なんと「マイボールを持っている」(某ダンディIさん)などの情報が事務所の中で、話題となり、いつしかみんな気合が自然と入っていったような気がします。

入手した情報はここまででしたが、きっと秘密特訓していた方もいたりして？

### 2) 当日、予想もしないこんなハプニングが・・・

なんと！ 場所を間違えた人が(しかも、大会関係者が)、、、我々が現地に向けて移動中、その当人(某ダンディTさん)と無線で交信できた。「ちょうど、いい時間に到着できそうやね」と話していたら、しばらくすると、「着いたよ」と連絡あり！ いくらなんでも異常なまでの早さだったので、「どこに着いたんけ」と聞いてみると、「ゴールデンボールやけど」と一言返答があった。我々はその瞬間”大笑い”したのは言うまでもありません(Tさん、我々と運良く交信できてよかったですな)。笑い話ですんだところまではいいのだが、関係者でさえこのような始末、もしかして大会参加者の中にも場所を間違える奴がいるのではないかと冷や冷やしたものである。

当日、会場に来なかった方は怪しい。

### 3) 盛りりに盛り上がったゲーム展開！！！！

まずは、何と言っても参加人数の多さです。44人がエントリーされ、正直驚きました。それと同時に大会関係者の間でも準備に気合が入りました。

12のレーンに散った選手達が注目する中、大和会長による始球式の第一投で大会の幕が開いた。その直後、「ハミングバード ゲーム スタート！」のアナウンスと同時に、予想もしない戦いが始まったのである。一投目から全レーンより歓声の花火があがって止まないのである。このような雰囲気になると、その波に乗り遅れてはいけないと各人のテンションも一気に最高潮になった。ストライク、スペア、ターキーの一投一投に歓声があがったり、スペアをはずし、真剣に悔しがる選手も見受けられた。1ゲーム目が終わる頃に、調子のいい選手は、ライバルのスコアが気になるのか、偵察する姿も見受けられるほどでした。そして、誰が優勝してもおかしくない混戦状態の中、2ゲーム目がスタートしたのでした。更なる緊張感の中、盛り上がりの勢いは止まることなく、白熱したゲーム展開が続いたのでした。

そして、あっという間にゲームが終了したように感じたのは私だけでしょうか。結果はご覧の通り

です。

見事、混戦の中、優勝した関沢さんは、「お～、燃えたぜ～」の一言！  
2位の松原さんは、ハイスコア賞とダブルの入賞！ また、女性トップの6位に入賞した大間知さんは、「後2ゲームくらいあればね」のコメント。  
コンペにもしばしば参加されているということで、次回の大会では最初から飛ばしてくる可能性も。。

というわけで、みなさん、次回が楽しみです～！



左より、松原さん、関沢さん、島倉さん、大間知さん。

第1回ということで個人戦のみでしたが、

入賞おめでとうございます！！

今回のデータを分析して、次回は団体戦も行う予定ですのでお楽しみに。予定はですね・・・ひ・み・つです。（今秋、はたまた忘年会時という噂も）

それでは、次回も異常なまでの盛り上がり、ハミングバードならではのハプニングを期待して、また、いつかみなさんとお会いしましょう！

最後に、開催に際してご足労をおかけした本馬竜夫さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

順位	氏名	1GAME	2GAME	TOTAL	順位	氏名	1GAME	2GAME	TOTAL
1	関沢 孝之	165	181	346	23	高林 小百合	121	106	227(+20)
2	松原 利道	147	194	341	24	田中 一浩	148	98	246
3	島倉 浩一郎	167	170	337	25	若林 恵子	113	110	223(+20)
4	井上 文一	163	172	335	26	松田 勲	106	131	237
5	永川 芳仁	147	186	333	27	佐藤 裕	133	103	236
6	大間知 恵津子	143	168	311(+20)	28	河合 敏明	110	125	235
7	横江 裕一	141	181	322	29	森 伸一	104	129	233
8	佐野 貢	150	166	316	30	松井 浩一	117	115	232
9	清水 清一	150	153	303	31	瀬戸 和夫	111	119	230
10	高井 博昭	142	161	303	32	五十嵐 恵子	123	86	209(+20)
11	並川 宏英	153	148	301	33	西島 直樹	110	115	225
12	藤野 光一	154	139	293	34	岡崎 洋司	96	126	222
13	林 純雄	155	126	281	35	鎌仲 秀一	120	92	212
14	江上 祐司	164	115	279	36	松原 益美	88	98	186(+20)
15	本馬 竜夫	145	126	271	37	早風 慎也	98	100	198
16	川崎 孝	104	165	269	38	清水 昌代	91	78	169(+20)
17	藤井 清孝	100	167	267	39	五十嵐 忠	94	93	187
18	大野 晋也	93	174	267	40	西島 蘭子	100	62	162(+20)
19	塩岡 貴子	102	144	246(+20)	41	石崎 陽子	71	79	150(+20)
20	山手 幸一	119	137	256	42	塚本 隆暢	62	95	157
21	三島 敏幸	133	122	255	43	谷口 英理	57	77	134(+20)
22	大和 隆三	133	119	252	44	五百崎 宏	88	63	151

## 特集記事！！

# ゴールドパスにチャレンジ！！ このパイロンはこう攻める！パイロン攻略法！！

Report:K.Fujino

みなさんはゴールドパスにチャレンジした事はあるでしょうか？今年から「セルフコンペ'97」と題して、クラブ・スクール対象のオールシーズンコンペを行っています。主な目的は「目的を持ったフライトによって、より技術・知識の向上を図って欲しい」と言うことが挙げられます。セルフコンペには

1. オープンクラス (ターゲット・砂場)
2. ゴールドパスクラス (スピードラン競技)

があり、オープンクラスはとにかくランディングの際に「砂場」に入ればOK。そして年間で競技に参加した本数の中で砂場に入った本数による「ターゲット着地率」で成績を決めます。

また、ゴールドパスクラスはゴールドパス所持者を対象に27.4Kmのパイロンをまわるスピードラン競技を行い、最もタイムの早い選手を決定する内容になっています。

コンペの詳細は開催要項・競技規定で確認していただく事にして、今回はセルフコンペに参加する為に必要なゴールドパスのタスクについて徹底的に分析した「パイロン攻略法」をお届けします。

## ゴールドパスについて

ゴールドパスは、立山山麓フライトエリアの拡大を図る為1993年に導入された制度で、ある一定のタスクをこなす事により、パイロットの飛行技術・知識・判断力等を総合的に判断し通常エリア外への飛行を許可するか否かを決定するものです。技術の中には、飛行技術は勿論のこと、アクシデントに備えた(例えばツリーラン)適切な降下技術や安全技術も包括して飛行技術と言っています。また、知識に関しても航空法、気象、救急、山岳等の多岐に渡る内容が求められます。そして何より”安全”に飛行を楽しむ為にゴールドパスを持ったパイロットがチームワークを発揮して活動する事が必要であると考えています。

ですから、これからゴールドパスに挑戦しようと思っている方は、これらの事を念頭において「ただタスクを廻れば美女平や対岸に行けるんだ！」と言う安易な考えは捨てていただき、安全の更なる向上、技術・知識の更なる向上の一手段として捉え、素晴らしいゴールドパスパイロットを目指して欲しいと思います。

## 写真撮影について

タスクをまわるにはカメラが必要です。しかも時刻が写るタイプの物。ゴールドパスでは時刻は重要ではありませんが、セルフコンペでは最も重要な要素の一つです。もう一つ、初めて写真を撮る人を混乱させるのが「撮影セクター」です。何も機体の名前じゃありません。パイロン撮影する際の適正アングルの事を”セクター”と言います。

この中には”FAIセクター”と”指定セクター”があります。指定セクターは読んで字の如く「指定されたアングルからパイロンを撮影する」事で、展望台なら「南側に面した部分を撮影する」とか、ゴンドラ駅舎なら「南東の角を撮影する」と言った具合に決められているものを言います。

問題は”FAIセクター”です。これはAパイロンを撮影し、Bパイロンを撮影しようとする場合更にBパイロンを撮影した後に向かうCパイロンとの位置関係によって出来る三角形を作成し、角ABCの垂直二等分線を中心とした外側の左右45度を開いた扇状の位置で、パイロンから半径1Km以内の範囲と定義されています。字で説明すると難解なので図を参照して下さい。

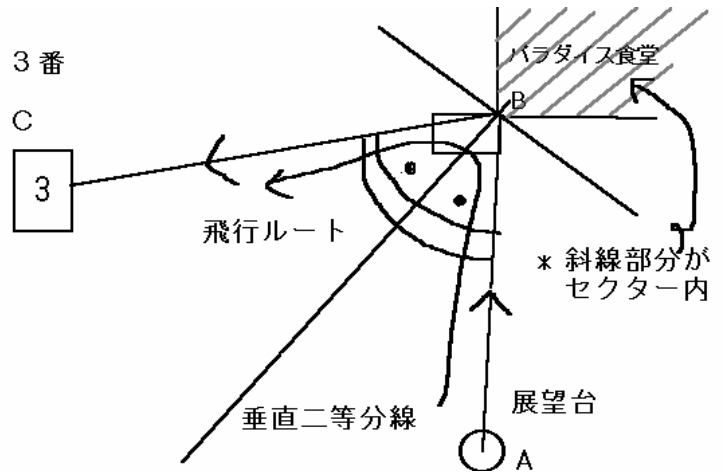


図1

このセクターの厄介な所は、前後のパイロンの位置によってセクターが変化することです。これは、フライト前に必ず地図上で確認（場合によってはどの方向に向けて撮影するかを記入しておいた方がいい！私も知らないエリアでの大会では、必ず地図上に撮影方向、例えば”Cパイロンは北北東に向かって”と言うように具体的に記入している）しておく必要があります。セクターがズレていたら、そのタスクは認められないので注意して下さい！！

## ゴールドパス攻略法

### 1. タスクの畏を理解せよ！

それでは、ゴールドパス（以下Gパスと略す）のタスクについて分析してみましょう。このタスクは

展望台（T.O） - 1番（パラダイス食堂） - 3番 - 2番 - 1番 - 3番 - 2番 - 展望台トッラン  
 という三角パイロンを2周するものです。しかも、沖に設置された2番パイロンを2回も取りに行かなければなりません。このタスクの最大のポイントは、誰もが”2番”と考えるでしょうが実はそこが大きな落とし穴。畏はその後のパラダイス食堂と最後の展望台トッランにあると言えます。

このタスクが作られた’93年頃は、かなり難易度が高いものだったと思います。そして、廻るコースを考えると、「展望台をテイクオフした後、五色に廻りこんでサーマルをヒット、パラダイスを取るのに必要な高度を稼いでからパイロンに向かう。パラダイスを取った後はまっすぐ金山（あわよくば国体）で尾根上に出て再びサーマルをヒットし、3番へ向かう高度を稼いでから3番を取りに行き、またまた金山ヘリターンして五色若しくは展望台へ行けるだけの高度を稼ぐ。そして、五色でサーマルをヒットしたら、セオリー通りに展望台から+300m以上の高度を稼いで2番を取りに行く。2番を取ったらまっすぐに金山に戻ってまたパラダイスを取る為に高度を稼ぐ訳だが、この頃、金山から直接パラダイスに向かう事はあまりしなかったのもう一度五色で上げ直す事になる。後は同じ事を繰り返して、最後に展望台にトッランとなる。」のが常だったと思います。

しかし、考えてみて下さい。一体何回サーマルを必要としたのか？また、飛んだ距離はどれ位なのか？タスク距離は12.2Kmですが、先程のコースをタスク化すると

TO - 五色 - 1番 - 3番 - 五色 - 2番 - 金山 - 五色 - 1番 - 3番 - 五色 - 2番 - 金山 - 展望台LD  
 となり、20Km位は飛んでいるのではないかと思います。また、この廻り方だと、実に11回~12回もサーマルをヒットしなければなりません。当然時間もかかるし、サーマル条件が良い日ばかりとは限らないので、その内にサーマルが無くなるか垂れてしまって厳しい局面に遭遇する事だって考えられます。特に、畏だと言った部分について解説すると、2番を取った後に金山に戻るのセオ

リーではあるが、後からパラダイスを取りに戻って来なければなりません。しかも、金山に機首を向ければアゲンスト成分が多く沈下も大きくなります。更に追い撃ちは、金山・国体周辺のサーマル活動が活発な時は、金山に戻ろうとするコース上に必ず大きなシンク帯が発生している事です。これらを計算に入れないパイロットは、金山目前で究極の選択を迫られる事になるでしょう。（降りるか、突っ込むか）

ズバリ！このタスクは、2番の後のパラダイスを如何に楽に取るか？如何に少ないサーマルで廻るか？にあると考えます！！

## 2. タスクを廻る為の準備をせよ！

みなさんはタスクを廻る際にどんな事を考えて廻りますか？必要最低限の準備はしておかないと絶対に上手く行きません。では、どんな準備をすればいいのでしょうか？既にタスクの難所については理解しました。しかし、基本的なフライトプランを立てる為の情報が圧倒的に不足しています。例えば、パイロン間の距離、必要な高度、自分のグライダーのグライドパス等、知っておかなければならない情報はたくさんあります。「これらを知らないと始まらない」って感じでしょうか？

（Gパスに限らずタスクを廻る為にはこれらの情報は必要です）

では、一つずつ検証して行きましょう。

### ・タスク距離、パイロン間距離

#### \*タスクをイメージした三角形

TO-1-3-2-1-3-2-TO

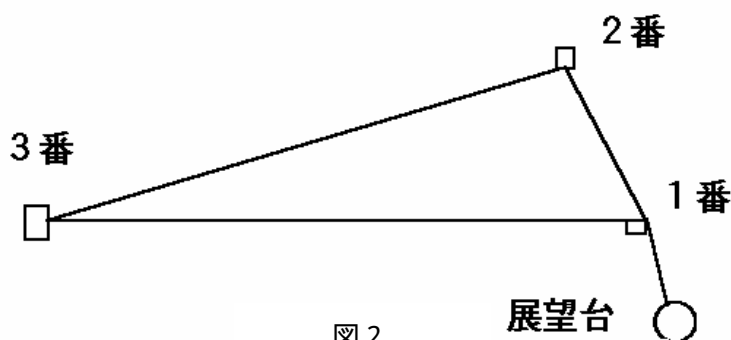


図 2

タスク距離は展望台テイクオフをスタートとすれば12.2Kmとなります。タスクとしてはむしろ短い部類のショートタスクと言えます。しかし、2番が2回あると言う事で難易度は高いでしょう。

次はパイロン間距離です。

TO . 1 - 1番 - 3番 - 2番 - 1番 - 3番 - 2番 - 展望台

0.7K 2.2K 2.0K 1.3K 2.2K 2.0K 1.8K 合計 12.2Km

となります。展望台からパラダイスまでは0.7Kmあります。パラダイスから金山までは約1Km超と言った所でしょうか？パラダイス近辺では上げ直せないと考え、パラダイスをとる為には展望台からパラダイス経由の金山行きのコースになるでしょう。そうすると、展望台から1.7Kmは最低飛行する事になります。しかも、1.7Km飛行した時に金山の山頂付近の高度が残るようにしなければなりません。ここで必要な高度の計算に入ります。これには、みなさんのグライダーの滑空比のデータ（ポラーカーブ）があれば一番いいのですが、そんな物を測定しているのは物好きなパイロットかコンペティター位しかいないでしょう。ですから、ここからは一般論として話を進めます。出来れば、みなさんも飛行中にパリオを見て平均的な沈下率とかを知っていると

役に立ちますよ。

ここでは、全てのグライダーにおいての沈下率を1.4m/秒として計算します。それぞれのグライダーの参考になるように、スピードをグライダーのクラス毎に変更可変する事にしましょう。トパーズやオリオンと言ったオールラウンド機（あえて初級機とは言いません）については、時速27Km、スーパースペース2やメラック等のスポーツ機は時速30Km、セイバーやXYON等のハイパフォーマンス機は時速33Km、コンペ機は今回は無視します。（コンペ機に乗っている人はこれ位の事は知っているでしょうから）

では計算です。時速30Kmの機体で1.7Km飛行して金山に着く高度が900mになるには一体いくらの高度で展望台を出発すればいいでしょうか？時速30Kmは、分速500mです。秒速にして約8m。この速度で1.7Km飛行する為には約213秒必要になります。

$$213秒 \times 1.4m = 298.2m \quad 900m + 298.2m = 1198.2m$$

これにそれぞれみなさんの”マージン”をプラスした高度で出発すればいいわけです。

参考の為に説明しておきますが、なぜ沈下率が1.4mかと言うと、これは滑空比に換算すると約6に相当します。現在のスポーツ機の性能を考えると、これ位を基本に考えれば応用出来ると考えたからです。

同様にタスクをこなして行きましょう。金山から3番までの距離は約1Km位でしょうか？往復2Kmの距離を飛んで、やはり金山で高度900mにする為には

$$250秒 \times 1.4m = 350m \quad 900m + 350m = 1250m$$

私の経験ではここまで必要ないと思いますが、あくまで机上の論理と言うことで話を続けますのでよろしく。

次が最大の難関と思われる2番の攻略です。ここでは、いくつかのコースが考えられます。金山を出発するコース、展望台を出発するコース、極楽坂を出発するコースなどです。では、セオリーである展望台出発コースから話を始めましょう。このコースを使う為には当たり前ですが、金山から高度を稼いで展望台まで移動してこななければなりません。しかし、今回はその部分は割愛します。（自分で計算してみてください）

展望台から2番までの距離は1.8Km、2番から金山までは1.6Km位でしょうか？この3.4Kmを飛んで金山に900mで到達する為には

$$425秒 \times 1.4m = 595m \quad 900m + 595m = 1495m$$

この数字を見て「あっ！」と思った方もいるでしょう。そうです。展望台の標高は1170mです。「2番をとるには展望台から300mは必要だよ！」って聞いた事あるでしょう？まさにその高度なんです。では、金山を出発するコースはどうでしょうか？

金山から2番までは1.6Km、ついでに次はパラダイスなので2番からパラダイスまでの距離は1.3Km、パラダイスから金山までは1Kmとすると3.9Kmとなります。

$$487秒 \times 1.4m = 681m \quad 900m + 681m = 1581m$$

となります。展望台よりも100mも余計に上げなければなりません、これ位上がる条件であればこのコースが絶対オススメです。展望台に行くための上げ直しが不要だし、金山からパラダイスを取りに戻る事もないからです。また、これも私の経験ですが、金山から2番を取りに行った方があまり高度がいりません。2番に向かう時は西風を背負っての飛行になりますから、スピードが上がり滑空効率が良くなります。2番からパラダイスにしても北寄りの風や斜面上昇風（リッジ風）の影響で沈下率が低くなります。更に、アゲンストで金山へ向かう時は斜面上昇を飛行しますから、



リッジ風によりやはり沈下率が低くなります。このような理由でこのコースが一番良いと私はいつも思っています。(上げ直しが少なく、時間も早い)

あとは、今までと同じように計算してみてください。機体の特性が判っている方は、沈下率や速度を可変して計算すると、より正確な値が判ると思います。

## グライダーをコントロールせよ！！

以外と見落としがちなのが「グライダーコントロール」です。ただ廻ればいいってもんじゃないありません。効率良く廻る方がいいに決まっています。(これはセルフコンペでも重要なテーマになる) 一体何の事かと言うと、「グライダーを頭上に安定させて飛べ！」と言うことです。何故か？

### ・ロールした場合

ローリングは進行方向に対して左右に機首が振れる事になります。車で言えば蛇行運転です。当たり前の話ですが、直線飛行よりも蛇行飛行の方が距離が余計だと言うことはおわかりでしょう。

またロールする事によって「沈下」も増える事を考えなければなりません。言うなれば沈下率 1 . 4 mの機体で 1 Km飛行するはずが、沈下率 1 . 5 mで 1 . 3 Km飛行する事になるかもしれないのです。無駄以外の何者でもありません。

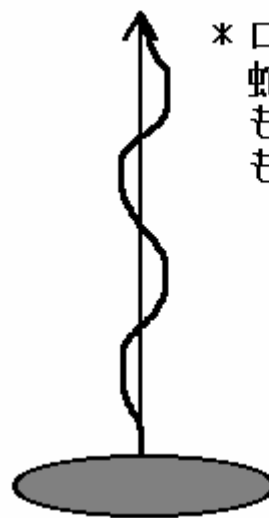
### ・ピッチングした場合

ピッチングは垂直方向の動きです。正常な滑空は、目的地に向かって直線的に一定の角度で地上に向かって伸びる直線で表現出来ます。しかしピッチングするとどうなるか？この直線が波打つ事になりますよね？しかもピッチングも大きな沈下を伴います。(通常よりも) 波打つ線は直線よりも長くなりますから、ここでも距離が余計にかかってしま

います。よってローリングと同じ結果が引き起こされるのです。

以上のように、ピッチ、ロール共にコントロールしてやらなければ距離や沈下に大きく差が出てしまうでしょう。わずか 10 mで「金山に出られなかった」って事もあり得るのですから、馬鹿にしないで練習して下さい。これが出来るようになればそうそう潰される事はないでしょうし、効率良くグライディング出来るでしょう。

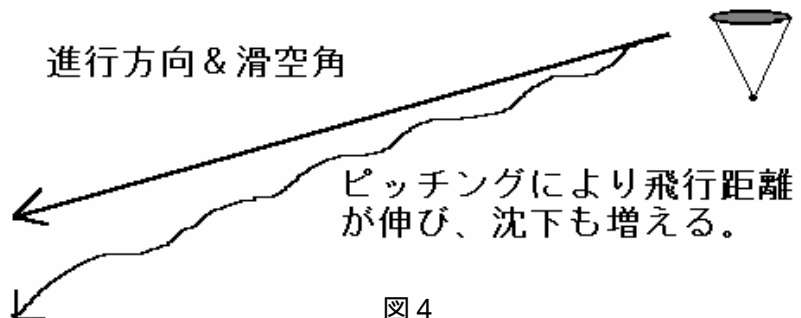
進行方向



\* ローリングにより蛇行し、飛行距離も長くなり、沈下も増す！

図 3

進行方向 & 滑空角



ピッチングにより飛行距離が伸び、沈下も増える。

図 4

## 最後の難関！展望台トッラン！！

さあ、最終の2番を取って首尾良く尾根に降り着いたあなたはよいよ最終段階に入らなければなりません。そうです。展望台トッランです。これに失敗してしまえば今までの苦労は全て無駄になってしまいます。（全く無駄とは言いませんが）ですから、慎重に、安全に、確実にこなさなくてはなりません。

では、どうすれば上手くトッラン出来るのか？基本的には通常のランディングと変わらないのですが、展望台と言う狭い限られた場所である事と、場所が山頂であり、サーマルポイントでもある事、当然斜面上昇風が吹き抜けて行くと言う、困難な条件の中でのランディングとなるのです。これを確実にこなせるようになるには、最低でも砂場に7割以上の確率で入ることが出来なければなりません。そして、通常よりも沈下が低い（落ちない）のがトッランの特徴です。場合によっては上昇してしまいますから、確実な高度処理、アプローチが必要です。最悪の場合は“落とすテクニック”も必要になるかもしれません。（でも、最初は無理せずやり直して下さい！！）

いずれにせよ、通常のランディング時に確実にランディング出来るように日頃から練習しなければ、展望台トッランは難しいでしょう。

## チャンスは周到な準備に宿る？！

とにかく、今まで書いてきた内容をよく研究し、日頃から意識して練習し、周到な準備を重ねてからタスクに挑めば、あなたは必ずやGパスパイロットになることが出来るでしょう。ぜひ、頑張ってGパスにチャレンジして下さい。そして、セルフコンペにもチャレンジしてみてください。そこには、あなたが今まで思いもよらなかった世界があることでしょう。



第3回トミーズカップ開催間近！今年は誰があの優勝カップをてにするのか！？  
**大胆予想！トミーズカップ！！こいつぁイ・ケ・て・る・でえ！！**

Report:T.Sakamoto

今年もトミーズカップの季節が近づいて来ました。昨年は一身上の都合で参加出来なかった私ですが、今年からはレース前からあらゆるデータを分析して大会に備えております。

さて、今回はこのトミーズカップを私の秘蔵のデータを駆使し、参加するだろうと思われる強豪選手を中心とした勝者予想を面白おかしく？お届けしようと思います。（氣い悪うせんといてや！！）

**勝つ為の要素とは？**

\* 洞察力

気象条件、タスク考察力、周囲の状況、時間等総合的に見てとれる能力。

\* 判断力

いつテイクオフするか？どこで上げるか？どの高度で移動するか？待つか？などを、今置かれている状況の中で最もベター(ベストならなお良い)な選択をする能力。

\* 考察力

タスクを廻る為の戦略立案能力。どれぐらいのスピードで飛んでどれぐらいの時間で廻る(目標設定)するのか。タスクのポイント(落とし穴)はどこで、いかにリスクを回避するか。などなど。

\* 飛行技術

プラン通りに飛行する為の技術。無駄を省いた効率的なグライダーコントロール。

以上の要素を備えた選手が当然有利になる。

**機体番付**

(5つ星評価 =1P =0.5P)

機体名	メーカー名	浮き	スピード	安定性	操作性	総合評価
SECTOR	EDEL					
XYON	NOVA					
SABEA	EDEL					
GENESIS	FIREBIRD					
ENERGY	EDEL					
SPHINX	NOVA					
ATIKIS	ITV					
RAINBOW	EDEL					
MERAK	ITV					
S.SPACE-2	EDEL					

などと独断と偏見で評価してみましたが、やはりセクターかイクシオンってところでしょうか？このグライダーのオーナーは頑張っ欲しいと思います。

## タスク予想

さて、トミーズカップ（クラス1）はどのようなタスクが考えられるのか？勿論、天候や条件に左右されるが、過去のタスクを振り返ってみると20 Km前後のタスク距離であると思われる。また、スタートパイロンはパラダイス食堂（1番）が過去全ての大会で使用されているので、今回もその可能性が高い。そして基本形は1番、3番、5番（展望台）の3つのパイロンを使ったアウトアンドリターンであると言う事だ。

しかし、今回は条件如何によっては2番、4番を使用する事も十分考えられる。が、参加者の多くにゴール可能なタスク設定を基本に考えるとすれば、無理をしても4番か、タスク後半に2番を入れる位しか出来ないのではないかな？

ズバリ！タスクは条件さえそろえば

T O 2 - 1 - 3 - 5 - 3 - 1 - 3 ( 4 ) - 5 - 2 - 3 - L D 1

のパターンになるだろう（と思う）。

スタート方式は昨年同様一斉スタート。ただし、グランドスタートか空中スタートかは不明。

## 強豪パイロット・独断評価

今回出場が予想される強豪パイロット達を、独断で評価してみた。（怒らないでね！）

－用語解説－

スピード（S）：機体の速さだけでなく判断も含めたパイロンをまわる速度。

粘り（粘）：渋い条件でも諦めずに長時間飛んでいられるかな？

道悪（道）：条件の変化が激しいときに耐えられるかどうか。キープハイの人は道悪に強い。逆に見切って進む人はアクシデントに弱い。

タイプ（T）：競馬用語を多用しています。

「逃げ」は最初からとばしていくタイプで一人旅を好む。

「先行」は集団の中で先頭を走りそのままゴールに駆け込むタイプ

「差し」は集団の中頃で道中を過ごし最後に競り合うタイプ

「追い」は集団の最後尾を走り最後にぶっちぎるタイプ

評価者：M = もう P = ぴかいち

選手名	使用機体	性別	S (M・P)	粘 (M・P)	道 (M・P)	T (M・P)	今年の成績
阪本 猛	SENESES		( . )	( . )	( . )	(逃げ・逃げ)	不参加
本馬 竜夫	SECTOR		( . )	( . )	( . )	(先行・先行)	2位
高松 俊夫	SECTOR		( . )	( . )	( . )	(差し・差し)	3位
高林小百合	MERAK96		( . )	( . )	( . )	(追い・差し)	9位
清水 昌代	VISION		( . )	( . )	( . )	(追い・追い)	13位
松田 勲	SPIHNX		( . )	( . )	( . )	(差し・追い)	不参加
佐藤 裕	SABEA		( . )	( . )	( . )	(先行・先行)	8位
高井 博昭	ENERGY		( . )	( . )	( . )	(差し・差し)	5位

以上の選手についての詳しい評価コメントを次ページに掲載します。

## 総合評価

使用機体・過去の実績・選手の特徴を検討し、総合評価を行いました。

阪本 猛 総合評価 A	怪我から復帰したものの勘が取り戻せず調教（セルフコンペ）でも突っ込んでばかりいる。ロケットスタートが信条でおそらく本番でも逃げ馬となるだろう。好条件になると強いが渋い時にはいち早く降るかも。（もう） レース運びが絶妙であるが、先の読み違えが命取り？に。彼独自のコース取りでリズムを掴めば優勝は堅い。が、多少飛びにムラあり。（ぴかいち）
本馬 竜夫 総合評価 A+	調教（セルフコンペ）では良い成績を出している。最新鋭機セクターとの相性も良く今回の本(命)馬か？好条件も渋い条件もこなす。先行タイプ。但し頻尿のため長丁場になるとやや不利か？（もう） 最近ノって来ているが、調子に乗るとポカをする。確実なプランでレースを戦う事が出来れば優勝に絡む事確実！ただし、追う立場になると博打を打つのでリスクな飛びも？（ぴかいち）
高松 俊夫 総合評価 A	さすがベテラン、安定した成績を残す。渋い条件でもしびとさを見せるが、いよいよ最後になると突っ込むのが心配。（もう） 渋い時の粘りはさすが！しかし、根本的に突っ込みが多い。優勝争いに絡むのはやや厳しい。渋い条件での周りの飛びが鍵を握る！！（ぴかいち）
高林小百合 総合評価 B+	こちらもブランク開けで本調子とは言えないが、天井ソアリングは健在。足はそれほど速くないのでバカチョン条件では厳しい。しかしキープハイのおかげで中垂れを一人生き残ってゴール！という目も。（もう） 最近飛んでないので判らない(未知数)だが、しつこく粘る飛びは目を見張るものがある。女子枠ではトップは堅いが、全体では中の上か？（ぴかいち）
清水 昌代 総合評価 B	この春からコンペに意欲が湧いてきたので気合い充分。ただしスピードにはまだ疑問が残る。勝機は渋くなった時に有り。手堅く飛んであわよくば上位入賞をねらえ！（もう） 最近移動する練習をしているようだ。女子枠のトップ争いは高林 - 清水ライン(競輪みたい)で決まり！粘りに磨きがかかってきているので期待できそう？（ぴかいち）
松田 勲 総合評価 A	最近ある人の影響で粘らざるを得ないため、粘りは 。スピード、道悪ともに人並みで高井さんとセカンドグループを形成しそう。（もう） 全体的にバランスのとれた飛びで他を圧倒する。しかし、機体の調子が今一步なので調整次第では大崩れしそう。しかし、上位入賞は確実！！（ぴかいち）
佐藤 裕 総合評価 A	セイバーへの乗り換えは正解。オーバーウェイトもコンペでは好都合。スタートも良くスピードは一流。ただし少々気性難。待つことを覚えればかなりの有力株。（もう） レースでは信じられない力を発揮する。時に無茶をやるので危惧されるが、優勝戦線に食い込む実力は十分。（ぴかいち）
高井 博昭 総合評価 A	着実な飛びが売り。一つ一つのパイロンを大事にするタイプ。あまりレースを意識しない方がよい結果が出るだろう。果報は寝て待て。（もう） 調教(セルフコンペ)では着実に実績をあげつつある。今一番ノってる対抗馬だろう。緻密な計算とレース運びで優勝争いを面白くしてくれそう。（ぴかいち）

ここに登場した人もそうでない人も、ぜひ頑張ってください！！

## Information

### セルフコンペ '97 開催中！！

今年から新たな試みとして開催されているのが「セルフコンペ '97」だ。これは、シーズン中であれば（11月3日まで）いつでも参加出来るコンペである。クラスは「オープンクラス」のターゲット競技（砂場に着地する確率で評価）と、「ゴールドパスクラス」のスピードラン競技。これは、日頃のフライトの中にも目的をもって楽しく飛んでもらうことで技術や知識の向上を図ってもらおうと企画された。現在、オープンクラスのタスクリポートの提出実績はまだ無いが、ゴールドパスクラスは白熱した展開になっている。

上位入賞者は忘年会で表彰します。今からでも遅くはない！あなたもセルフコンペに参加しよう！！

#### ハミングバードPGC セルフコンペ '97 開催要項

**主催** ; ハミングバードパラグライダークラブ

**協力** ; JMB立山パラグライダーズスクール

**参加資格** ; ハミングバードPGCクラブ員及びJMB立山スクール生

**実施期間** ; '97年4月26日～'97年11月3日迄

**参加費** ; 無料（フィルムやダークレス等は参加者で準備して下さい）

**競技内容** ; オープンクラス ; ターゲット競技（B証所持者以上を対象）  
（ルール）

ランディングの精度を競います。ターゲットは“砂場”です。砂場にランディングすればOK。ただし危険行為はNGです。（判定員は関沢氏にお願いしてあります）

順位は、

ターゲット着地本数 / 競技参加総フライト本数 × 100

で、一番確率の高い選手から順位を付けます。ただし、規定競技本数は15本とします。

**ゴールドパスクラス** ; スピードラン（ゴールドパス所持者に限定）

（ゴールドパスクラスに参加したい方は、ゴールドパスをとってね！）

（ルール）

決められたタスクを如何に早くゴール出来るかを競います。自由な時間に各自で飛んで下さい。順位は、競技開催期間中で最も早くゴールした選手から順位を付けます。ただし、誰もゴールしなかった場合は競技開催期間中で最長距離を飛んだ選手から順位を付けます。得点の方式は“トミーズカップ競技規定に準じます。当然、カメラ（データバック付き）が必要です。また、パイロンのセクターはFAIセクターを採用します。

**参加方法** ; 入山チェック時所定の申込み用紙に必要事項を記入し、意志表示をして下さい。また、下山チェック時、その用紙を指定場所に提出（競技結果を記入して）。なお、ゴールドパスクラスはその日のエリアコンディションによっては中止する場合がありますので、エリア管理者に確認する事。

**成績発表** ; 毎月第一日曜日に、前月時点（6月の第一日曜ならば5月31日時点）の途中結果をクラブのインフォメーションボードに掲示します。

**表彰** ; 表彰は

オープンクラススクール生の部  
上位3名（表彰状・賞品）

オープンクラス一般の部  
上位3名（表彰状・賞品）

ゴールドパスクラスの部  
上位3名（表彰状・賞品）

とし、年末に行われるクラブ主催の忘年会にて表彰式を行います。

何気なく飛ぶのもいいですが、「目標」を持って飛ぶことが新たな発見につながり、技術や知識の向上につながります。ぜひ、参加して下さい！！

## 第3回トミーズカップ開催予告！！

今年もトミーズカップの季節がやってきた！素晴らしい天候に恵まれ、素晴らしい条件に恵まれる事を期待したい。今年もバーベキューやら豪華賞品やらを準備してみなさんの参加をお待ちしてまっせ！（噂によると、過去のクラス1優勝者は今回はスタッフ専任らしい？）

### 第3回トミーズカップ開催要項

- 主催 : ハミングバードパラグライダークラブ トミーズカップ実行委員会  
協力 : JMB立山パラグライダースクール 立山パラグライダー安全管理委員会  
日時 : 1997年7月27日(日) 雨天の場合は予備日8月24日(日)に延期  
場所 : らいちょうバレースキー場 立山フライトエリア  
競技 : クラス1 パイロンレース(データバック付きカメラ必要)  
          クラス2 水運びレース&ターゲット  
参加資格 : ハミングバードPGC会員またはJMB立山PGスクール生であること  
          クラス1 JHF NP証以上(インストラクターの許可必要)  
          クラス2 JHF B証以上  
参加費 : ￥2,000(ゴンドラ、フィルム、ダークレス等は各自負担)  
予定 : 8:00~ 選手受付・テイクオフへ移動(極楽坂)  
          9:30~ 開会式・選手ブリーフィング  
          10:00~ 競技開始  
          14:00~ 競技終了・バーベキューパーティー  
          15:30~ 表彰式・閉会式  
(同封したハガキを、7月18日必着にて出欠をお知らせ下さい！！)

## 和泉恭子さん逝く

5月17日、長野県高山スカイパークで開催されていた「ホルンバレーカップ」にて、和泉恭子さんが事故に遭い帰らぬ人となってしまいました。恭子さんは、ここ立山でパラグライダーを始め、会員の方の中にも一緒にフライトしたり誘導してもらった事があるのではないのでしょうか？

事故原因については情報が錯綜しているようですが、いずれ正確な情報がもたらされるでしょう。

今はただ、恭子さんのご冥福を心からお祈りする次第です。(合掌)

広報委員会・会報編集部

## 編集後記 97 Vol.5

シーズンが始まってはや2ヶ月あまり。コンペはことごとくキャンセルになっている模様。私はエントリーしてないので関係ないのだが、選手が気の毒だ。私はその間ひたすら「セルフコンペ」に燃えていた。何と言ってもTeam-Cである。ゴールドパスクラスでは負けられない！！

このセルフコンペ、もう無茶苦茶な盛り上がりである。私達も勿論そうだが、あの寺内さんまでが、カメラを買い込んでタスクを廻っている。う～ん。強豪出現。ちなみにタスクは

極楽TO-展望台-4-パラダイス食堂-3-2-4-ゴンドラ山頂駅-4-美女平-ゴンドラLD  
の27.4Km。私のこれまでの記録は1時間29分。この記録を破るのはわ・た・し・よ！！

この後はトミーズカップも控えている。みなさんふるって参加して下さい！！

今年も「TATEYAMA NOTAM」をよろしくね！！

(Pikaichi)

話題の提供・ご意見・原稿の投稿は...

FAX (0762)40-6692 藤野 光一宛  
(0764)81-1551 JMB立山パラグライダーズスクール内  
ハミングバードPGC事務局広報宛

ファイルで投稿希望の方は...

3.5インチFD(1.2MBまたは1.44MBフォーマット)にTXT形式で保存された  
ファイルを事務局へお持ち下さい！！

電子メールで投稿希望の方は...(インターネット、BBS経由)

以下のアドレスへメールして下さい。

QZI01576@niftyserve.or.jp 藤野 光一宛

## TATEYAMA NOTAM

タテヤマノータム：第5号 1997年6月30日発行

編集発行人  
発行所  
事務局

藤野 光一

ハミングバードPGC 広報委員会会報編集部

〒930-14

上新川郡大山町本宮らいちょうバレースキー場 レストランふじ内

JMB立山パラグライダーズスクール ハミングバードPGC事務局